

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、30日の本会議において報告しました。

総務 常任委員会

6年度一般会計補正予算など議案6件、5年度一般会計歳入歳出決算など認定6件を審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願3件を審査し、刑事訴訟法の再審に関する規定の改正を求める請願は採択すべきものと決まり、その他2件は不採択とすべきものと決まりました。

【議案第82号】
令和6年度盛岡市一般会計補正予算（第2号）

問 社会資本整備総合交付金の減額による、道路の工事期間延滞など、事業への影響は。

答 道路関係では約2億円の減額となっており、起債事業などを充当し、できるだけ事業を進める。6年度当初の予定箇所については事業費を調整しすべての箇所で何らかの対応は行うため、実施しない路線はない。6年度完了予定の三本柳線などの路線は必要額を配分しており、進捗を図っていく。



移住定住事業の促進を

【認定第1号】
令和5年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 移住支援金について、これまでの実績や4年度との比較は。

答 3年度は8件、4年度は20件、5年度は32件支給した。6年度は9月19日時点で単身世帯に2件、複数世帯に6件の計8件であり、4年度以降大幅に増えた。6年度は5年度に比べ若干落ち着いているが、移住支援金をきっかけに本市に住んでいただく取り組みになっていると感じている。

教育福祉 常任委員会

6年度一般会計補正予算など議案5件、5年度一般会計歳入歳出決算など認定5件を審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願6件を審査し、1件は採択すべきもの、2件は不採択とすべきもの、3件は引き続き調査検討を要するため、継続審査と決まりました。

【認定第1号】
令和5年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 産後ケア事業利用者の受け入れ状況と宿泊型の実施など事業拡充の可能性の検討は。

答 デイサービス型は5つの医療機関で実施しており、1カ月から3カ月待ちの医療機関もある。人員や財源の確保などが困難と聞いており、他の医療機関などでの対応の可能性などについて検討を進める。宿泊型も必要と認識しており、医療機関と情報を共有し、実施に向けた方法を検討していく。

【認定第15号】
令和5年度盛岡市病院事業会計決算について

問 市立病院経営強化プランにおける課題への対応と未利用地の活用に向けての進捗状況は。

答 地域から必要とされている役割を果たすとともに、市立病院で働くことに魅力がある環境を作ることが大切である。未利用地の活用については、未利用地活用検討委員会で引き続き地域に不足しているものを検討するとともに、年内の業者選定に向けて取り組んでいく。



病院の働きやすい環境づくりを

産業環境 常任委員会

6年度一般会計補正予算など議案2件、5年度一般会計歳入歳出決算など認定4件を審査しました。審査の過程で、デジタルマップの閲覧状況の分析や、農業燃油等価格高騰対策支援金の実績内訳などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【認定第1号】
令和5年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 スマートフォンなどで利用できる盛岡ノスタルジックトリップまち歩きマップの閲覧状況の分析可能範囲とマップの更新頻度は。

答 掲載スポットごとに閲覧数を確認することができる。5年度は、観光スポットの追加や対応言語を7カ国語から11カ国語に増やすなどの更新を行った。デジタルマップの更新には予算が必要だが、閲覧状況の分析を進め、今後もモデルコースの見直しなど検討する。



【認定第1号】
令和5年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 農業燃油等価格高騰対策支援金の支給実績の内訳と、予算額に対し支給実績が4割程度にとどまった要因は。

答 盛岡地域では個人に437件、法人に18件、玉山地域では個人に223件、法人に10件支給した。支援金の上限額は個人が10万円、法人が20万円であるが、事前に支給額を計算してみて、支給見込額が低い場合、申請を控える人が多くいたことなどが要因と考えられる。

建設 常任委員会

6年度一般会計補正予算など議案9件、5年度一般会計歳入歳出決算など認定6件を審査しました。審査の過程で、公共下水道使用料の改定時期や、路線バス運転士確保支援、バス増便への働きかけなどについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第84号】
盛岡市下水道条例の一部を改正する条例について

問 公共下水道使用料の改定時期が7年度となる理由は。

答 平成22年の使用料改定以降、アセットマネジメント計画や業務の精査、組織変更などにより経費の圧縮を図っていたが、7年度から県の流域下水道施設の老朽化に伴う各自治体の管理維持負担金の引き上げに伴い、現行の使用料では7年度以降、純損失が生じることが試算されたことから、7年度から改定するものである。

【認定第1号】
令和5年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 路線バス運転士確保支援事業の支援内容と路線バス減便に対する再増便への働きかけの状況は。

答 5年度は、市内事業者3者合わせて新規雇用48人分の支援を行った。6年度は労働条件の変更などもあり、ダイヤ編成などのやりくりがかなり難しい状況であると聞いているが、路線バスは重要な交通手段であり、路線の維持ができるよう引き続きバス事業者と協力しながら取り組む。



議会活動レポート

各委員会が行政視察などを実施

建設常任委員会

7月22日から24日まで視察を行いました。宮城県名取市では、閑上地区かわまちづくり事業の内容や「かわまちてらす閑上」の整備の経緯や課題について、北海道旭川市では、除雪体制や旭川市雪対策基本条例制定の背景や目的、効果について、北海道函館市では、街並み整備計画の「ガーデンシティ函館」の事業内容と景観まちづくり刷新モデル地区の指定を受けたことによる整備の促進について、それぞれ説明を受けました。



かわまちてらす閑上を視察

総務常任委員会

7月23日から25日まで視察を行いました。石川県金沢市では、空き家対策や定住促進のための空き家活用等・流通促進体制や「かなざわ空き家活用バンク」の取り組みや課題などについて、長野市では、住民自治活動の再構築のための住民自治リフレッシュプロジェクトの取り組みや成果などについて、埼玉県戸田市では、市民サービスの向上や事務の効率化としてA I 総合案内サービスの取り組みや今後の展開などについて、それぞれ説明を受けました。



A I 総合案内サービスを調査

教育福祉常任委員会

7月23日から25日まで視察を行いました。仙台市では、ひきこもり支援ニーズに関する調査結果に基づいた支援事業について、札幌市では、小学校4校を統合した新設の小学校、保育所、子育て支援総合センターおよびミニ児童会館を複合化した札幌都心部子ども関連複合施設について、また、札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例の制定や条例に基づく子どもの権利救済機関の設置など、子どもの権利に関する取り組みについて、それぞれ説明を受けました。



ひきこもり支援を調査

産業環境常任委員会

7月24日から26日まで視察を行いました。富山県南砺市では、地域全体の自立度を高めるまちづくりなどを目指す南砺市エコビレッジ構想について、石川県金沢市では、廃校を価値創造拠点施設として整備した金沢未来のまち創造館の設置経緯や特徴について、福井市では、地域商社設立による販路拡大やスマート農業の推進など、持続的な農業の発展を目指す福井市農業活性化プランの取り組みについて、それぞれ説明を受けました。



金沢未来のまち創造館を視察

議会広報委員会

7月30日から31日まで視察を行いました。栃木市では議会報告会の一環として作成した議会PR動画の活用や、若者への情報発信の取り組みと効果などについて、栃木県では県議会広報番組の放送やSNSの活用、県議会ナビゲーターによる情報発信などについて説明を受けました。情報発信に当たっては、若い世代が興味を持つ内容か検討していること、YouTubeなどさまざまな手段を用いて情報を適時に発信し広く周知していることなどについて説明を受けました。



YouTubeの活用を調査

子ども・子育て特別委員会

7月2日に勉強会を開催しました。本市における子どもの多様な学びの場づくりとして、市教育委員会教育研究所から、子どもの居場所として設置した校内教育支援センターの現状や校外教育支援センターである「ひろばモリーオ」を中心としたアウトリーチ型支援などについて説明を受けたほか、認定NPO法人盛岡ユースセンター長兼理事の尾形岳彦氏を参考人として呼び出し、同センターの取り組み、フリースクールを取り巻く環境や課題などについて、それぞれ説明を受け、意見交換を行いました。

公共交通対策特別委員会

7月2日に勉強会を開催しました。本市のタクシー事業の現状について一般社団法人盛岡地区タクシー協会理事長の大野尚彦氏など4人を、市のバス事業の現状について公益社団法人岩手県バス協会会長の本田一彦氏など2人をそれぞれ参考人として呼び出し、タクシー業界やバス業界の現状、乗務員や乗客を増やすために実施している取り組み、それぞれの業界が抱える課題などについて説明を受けた後、解決策や市に求めることなどについて意見交換しました。

農商工連携特別委員会

8月20日に勉強会を開催しました。ダイバーシティ目線からの女性の地元定着について、岩手大学人文社会科学部人間文化課程教授の海妻徑子氏を参考人として呼び出し、女性の地元定着に係る歴史的変遷や現状の課題と取り組みについて説明を受けたほか、地域協創教育機能の強化について、岩手大学研究支援・産学連携センター教授の今井潤氏を参考人として呼び出し、高い専門性と実践力を備えた学生の育成を目指した岩手大学地域協創教育センターの取り組みについて説明を受けた後、市の特色のある学習体験などについて意見交換を行いました。

市政調査会が臨時研修会を実施

7月4日に宮古市で、宮古市遊覧船「宮古うみねこ丸」および三陸ジオパーク・みちのく潮風トレイルについての説明を受けた後、宮古市政調査会と合同で、「営農型ソーラーシェアリング～再生可能エネルギー活用について～」を演題に合同会社小田原かなごてファーム代表社員の小山田大和氏から講演をいただき、持続可能な農業に向けた取り組みについて理解を深めました。

また、7月29日に、「対話する議会、議員を目指して」を演題に青森大学社会学部教授の佐藤淳氏から講演をいただき、対話の活性化を促す手法の一つである「SOUNDカード」を用いたワールドカフェの進め方について学びました。



持続可能な農業について研修



SOUNDカードを体験

令和6年8月27日の大雨災害に関する要望書

8月27日の大雨災害を受け、市議会では、8月30日に盛岡市議会災害対策会議を設置し、9月30日に「令和6年8月27日の大雨災害に関する要望書」を市災害対策本部長である市長に提出しました。

【要望書の概要】

- ・災害復旧に係る財政支援などの要望活動
- ・すべての住民に的確かつ確実に情報が伝達される環境の整備
- ・避難所の支援体制の検証および福祉避難所を含めた避難所開設体制の強化
- ・橋脚に引っかかった流木などの除去
など38項目



要望書全文